
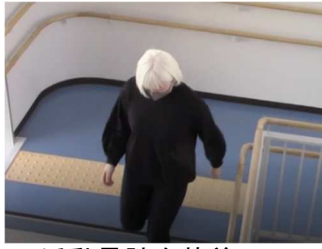


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

測定したデータから考察するための ICT 活用
「活動量計による心拍の測定」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部保健医療科 2 年
	障がい名等	視覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・ 文章や口頭のための説明よりも、模型を触ったり、観察を行ったりする等、操作を取り入れた体験的な活動で学んだ内容の方が定着しやすい。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	生物基礎
	単元(題材)名	単元名「体内環境の維持のしくみ」
	単元(題材)の概要	・ 生物には体内環境を維持する仕組みがあること及び免疫の仕組みを理解する。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	 タブレット型端末で、生徒が自らの心拍数を確認する様子  活動量計を装着し、運動する様子
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○ 活動量計によって心拍数と自律神経系の関わりを調べ、結果をもとに考察することができる。 〈工夫点〉 ・ 活動量計は手首へ装着するウェアラブル型で液晶画面が小さいため、タブレット端末とペアリングすることで、記録したデータを拡大して確認することができるようにする。
	材料・作成方法等	活動量計 (fitbit 社製 Inspire HR)、タブレット端末
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が刻々と変化する自らの心拍数をタブレット端末で確認することで、身体の状態と自律神経系の関わりを実感し、自らの考えを的確に考察に反映できるようになった。 	

(令和 4 年度)